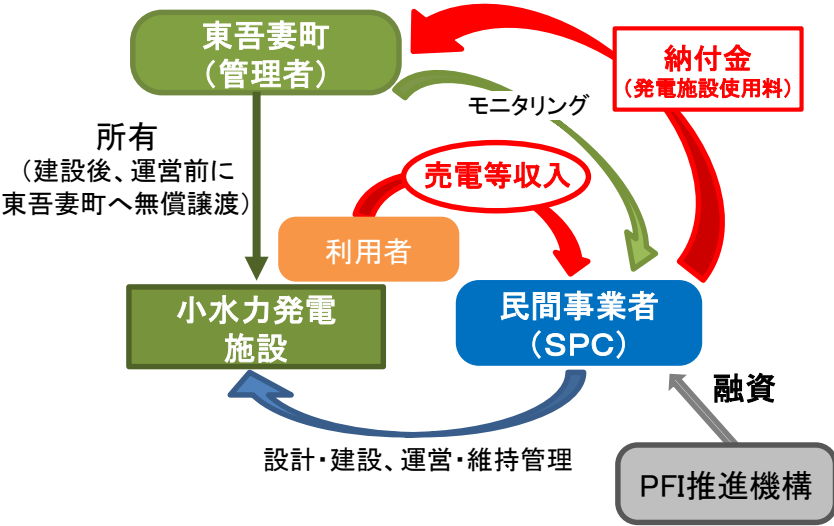


(事例2) PFI事業例(収益型) ②

○箱島湧水発電事業

発注者	東吾妻町(群馬県 人口:約1.4万人)	事業スキーム
事業内容	事業に要する費用の全部を利用者の支払う料金で回収する方式による小水力発電事業(鳴沢川)	
事業期間	22年(平成27年3月～平成49年6月)	
VFM ※Value For Money: PFIで実施した場合に、 公共直轄の場合と比べ どれだけ費用が下がるか	本事業は、売電等収入によって経費の全てが賄われるため町に実質的負担が生じない。 (VFM算出なし)	
契約金額	非公表	

特徴

- ①設計・建設、運営・維持管理に係る費用の全部を民間事業者が自ら得る料金収入により回収することで、**公共の支出なしで実施**するPFI事業であり、**公共には納付金(公共の収入)も発生**する。
- ②**人口規模の小さな地方公共団体**による事業
- ③実施方針公表(平成26年10月)から事業者選定(平成27年1月)までを短期間で行うことにより、官民双方の公募に係るコストを抑えた、効率的な公募プロセス。
- ④**民間資金等活用事業推進機構(PFI推進機構)による支援**を活用



鳴沢川



小水力発電イメージ図